

HIRAOKA Kindergarten Presents

季刊

湘南自然誌

Vol.3

March 13th 2025

神奈川・湘南
地域の自然を
再発見する

COVER STORY

湘南で化石 に出会う

ナウマンゾウが
湘南にいた?!



メガロドン（ムカシオオホオジロザメ）
の歯の化石

大磯町西小磯（約700～600万年前）

園児と自然に触れ合う中から生まれた

四季のコラム

園児や地域の皆さんからの
投稿写真を季節毎に掲載

湘南発 みんなでつくる！

生きもの図鑑

自然からのメッセージを子どもたちへ

平岡の自然教育の今

県立愛川ふれあいの村

吉田文雄学芸員によるコラム

心が育つ幼児教育

遊んで学ぶ生きもの

知育ゲーム

四季のコラム 冬

本誌発行元の平岡幼稚園の園便りに掲載したコラムを一部改編してお届けします。

文 堀田佳之介 ●平岡幼稚園 園長

真冬の夜に生きる命から

相手の見えない部分を見る目を持つこと



1 月に入り、神奈川県でも最低気温が0°Cを下回る予報がちらほら出るようになってきました。そんな寒さの厳しい時期を選んで出現する蛾のグループがあります。驚くべきは、この蛾たちのほとんどが夜間に活動することです。

私がこの蛾たちの生態に魅了されて以来、ぜひ園児にも紹介したいと思い、毎冬、夜の観察会を実施しています。これまではフユシヤクガ（冬尺蛾）というグループを観察していたのですが、昨年、蛾の研究者である中島秀雄さんと湘南平に行った際、キリガ（冬夜蛾）というグループも好観察対象であることを教えていただきました。成虫ではほとんど摂食しないフユシヤクガとは異なり、人が凍えるような暗闇の中でキリガは中島さんが仕掛けた餌（糖蜜トラップ）に次々と集まってくるのです。静寂に包まれた真冬の夜の林の中で、たくさんのキリガたちが摂食活動する姿を目の当たりにして、心底驚嘆しました。

私は、子どものころ蛾に対して気持ち悪いイメージを持っていました。でも、その小さな体に秘められた凄さや面白さの数々に触れることで、私は見た目や先入観だけで判断していたのだということを痛感させられました。相手の見えない部分を見る目を持つことは、すべての場面において極めて重要なことだと思います。

1 / 寒空の下、暗闇と静寂に包まれる湘南平での観察風景。どことなく神聖な雰囲気漂う。 2 / ウスミモンキリガ 3 / カシワオビキリガ 4 / クロチャマダラキリガ 5 / キバラモクメキリガ 6 / スモモキリガ（4～6は葉に塗られた糖蜜を吸う様子）

食の好みはそれぞれ

自然観察からダイバーシティの醸成へ



クワガタムシやタマムシの幼虫は枯れ木を食し、糞虫と呼ばれるセンチコガネ等は動物の糞を食します。ヘビはカエルなどを生きたまま丸呑みにします。色々な生きものの食事を観察していると、人間の感覚では決して美味しそうとは思えないようなものもあり、それぞれの立場によって“ご馳走”がだいぶ異なることがわかります。「蓼（タデ）食う虫も好き好き」ということわざは、「苦い蓼を食べる虫がいるように人間の好みも色々」という意味ですが、人間の好みに限らず、すべての生物の好みは色々と言えるでしょう。

とある日の保育中、枯れ木を持っていた子たちに「その枯れ木を大好きで食べちゃう生きものがあるんだよ」と伝えてみました。すると多くの子が「そんなのいるわけない〜」と信じてくれなかったのですが、続けてクワガタの幼虫の話をするとうたしかに!と多くの子が納得していました。ちなみに「みんなが大好きなアイスクリームやハンバーグを幼虫

にあげたらどうかな?」と聞いたら「それは食べないね」「たぶん嫌がる」と笑顔で盛り上がりました。

ダイバーシティ (Diversity) = 多様性が重要視されるこの時代、幼少期より色々な視点に立ち、他者認識を深めていくことが大切です。自然界の多様性を感じることは、人間社会における多様性 (人種・年齢・性別・能力・価値観など様々な違いを持った人が共存すること) への理解を深め、お互いを認め合える心の醸成にも繋がるのではないかと考えています。

1 / みんな楽しみにしている幼稚園給食 2 / 朽ち木を手にする園児 (平岡の森にて) 3 / 哺乳類の糞を食べるオオセンチコガネ 4 / 朽ち木を食べるクワガタの幼虫



植物の葉（フジの仲間）
平塚市土屋（約13万年前）



ナウマンゾウの脛骨（すね）
平塚市上吉沢（約8万年前）



Vol.36
Special feature

湘南で化石に

平塚市博物館のバックヤードにて



ナウマンゾウの臼歯
二宮町緑が丘（約50万年前）

博

博物館で貴重な化石を見ながら知識を深めるのも良いが、自分の目で地層の中から化石を見つけ、よりリアルに太古の世界を感じてみたいもの。そんな経験ができるスポットが、二宮町の東大果樹園跡地付近と大磯町の西小磯海岸にある。野崎さんに両地を案内していただき、平岡幼稚園の有志家族と共に化石の野外観察と発掘体験をしに行ってきた。

古

地層の中から見つかった生物の痕跡である化石。湘南ではどのようなものが見つかるのだろうか？化石のことを知りたければまずは博物館ということで、「相模川流域の自然と文化」をテーマとしている平塚市博物館を訪れた。取材に对应して下さったのは、地質分野を担当する野崎篤字芸員。常設展示していないものも含め、湘南産出の化石を多数見せていただいた。

これらを見ると、湘南地域でも貝類・魚類・哺乳類など様々な化石が見つかることが分かる。八万年前、平塚にはナウマンゾウが歩いてきたのだ。さらに七十万〜六十万年前にさかのぼると、巨大なメガロドン（ムカシオオホジロサメ）が海を泳いでいた。ならば恐竜もいたのでは？と思うが、残念ながら見つかっていない。なぜなら恐竜は、このあたりの地層ができるずっと前、今からおよそ六千六百万年前に絶滅しているからだ。

太古の昔を感じたかったら、まずは平塚市博物館へ足を運んでみて欲しい。さまざまな展示物を眺めるだけで、かつての湘南の地史の一端を知ることができるであろう。



ナガニシ
大磯町虫窪 (約 60 ~ 40 万年前)



ベニグリガイ
大磯町虫窪 (約 60 ~ 40 万年前)



ヒゲクジラ類の下あご？
大磯町西小磯 (約 700 ~ 600 万年前)



トウキョウホタテ 大磯町虫窪 (約 50 万年前)

1

平塚市博物館編



メガロドン (ムカシオオホオジロサメ) の歯
大磯町西小磯 (約 700 ~ 600 万年前)



Guide (案内してくれたひと)

平塚市博物館 地質担当学芸員

野崎 篤 のぎき あつし

横浜国立大学大学院卒。8 才の時に映画『ジュラシックパーク』を見て衝撃を受け、太古の地球環境の研究を志す。2017 年には日本地質学会論文賞受賞。現在、平塚市博物館の学芸員として平塚市周辺地域の地質の研究・調査や、展示会の企画・運営などに携わっている。

湘南で化石に出会う

2 二宮層編





1 / 古墳時代に造られた鶴巻田横穴墓群。壁から天井まで二枚貝の化石が広がる。2 / 化石や地層について解説中の野崎学芸員。二宮層からは300種以上の貝化石が見つかったという。3 / 貝の化石の多くが殻を閉じている。これは、かつてこの場所に貝が生息していたことを示す証拠だそう。4 / 遺跡周辺にはいくつもの横穴がある。取水用に掘られたらしいこの穴は、今は「二宮ワインカーヴ」と名付けられたワイン保管庫となっている。



5 / 通常発掘はできない場所だが、地権者から特別な許可をいただき、付近に落ちていた転石で少しだけ発掘体験をさせてもらった。思ったよりも柔らかく、プラスチックの鑿（たがね）とハンマーでも化石を掘り出すことができた。6 / 子どもが自ら掘り出したベニグリという二枚貝の化石。他にも、ホタテやザルガイの仲間化石も見られた。野崎さんによると、ゴカイなど環形動物のチューブ状になった巣穴の化石が見つかることもあるそうだ。

「皆さん、もうお分かりでしょう。こんなにたくさん貝の化石が見られるということは、ここは昔海の底だったということ

歓声があがる。
野崎さんの後に付いて横穴の中へ入ると、貝の化石が壁面から天井まで星のようにちりばめられている光景に、参加者から「皆さん、もうお分かりでしょう。こんなにたくさん貝の化石が見られるということは、ここは昔海の底だったということ

この土地の由来についてお話しが始まる。「ここは七世紀前後の偉い人のお墓だった場所です。約五十年前の地層（二宮層）をくりぬいて作られているので、地層の中にすっぽり入って観察できます。これから穴の中に進みますが、そこで見つかる化石から、かつてここがどんな場所だったのか考えてみましょう。」

「落ちてる石を少しだけ割ってみましょう。プラスチックのハンマーを持って来たのでこれを使ってね。」

化

石観察企画は二宮町から始まった。東大果樹園跡地に集合し、古墳時代の遺跡である鶴巻田横穴墓群へ向かう。遺跡周辺全域が私有地であるため、当企画は事前に許可を得て実施した。

2 二宮層編

五十万年前

「普段どこか歩いている時に、地層が剥き出しになっているところがあったらじっくり観察してみよう。化石が見つかるかもしれないよ。」

「この辺の地層からは、海の生きものだけでなく、ナウマンゾウの歯の化石も見つかっています。体は見つかっていないので、おそらく陸上で抜けた歯・死体の歯が流れてきて、貝と一緒に海の底にたまったのでしょう。ということは、この辺りはそんなに陸から遠くなかったと考えられます。」

「落ちてる石を少しだけ割ってみましょう。プラスチックのハンマーを持って来たのでこれを使ってね。」

「落ちてる石を少しだけ割ってみましょう。プラスチックのハンマーを持って来たのでこれを使ってね。」

「落ちてる石を少しだけ割ってみましょう。プラスチックのハンマーを持って来たのでこれを使ってね。」

「落ちてる石を少しだけ割ってみましょう。プラスチックのハンマーを持って来たのでこれを使ってね。」



3 大磯層編

湘南で化石に出会う

層)で、二宮と同様たくさんの化石が見つかるスポットなのだ。先に紹介した、平塚市博物館に展示されているメガロドンの歯の化石も、この場所で見つかったものだ。

「ここも貝の化石が多いのですが、もしかしたらサメの歯の化石も見つかるかもしれません。形は三角形で表面がツルツルしているのが特徴です。今日は岩に砂が被っていて見づらいますが、岩肌をよく眺めていると見つかるかもしれませんよ。」

見慣れた湘南の海岸風景。その足元には実は七百万年前の生きものの痕跡が封じ込められていたとは驚きだ。

「二宮と違って岩がカチカチですね。地層は基本的に古ければ古いほど硬いです。なので、ちょっとだけ鉄のハンマーを使ってみましょう。」

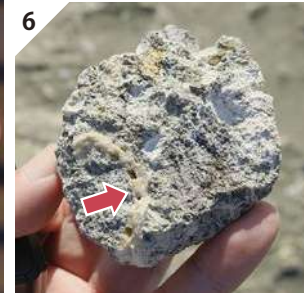
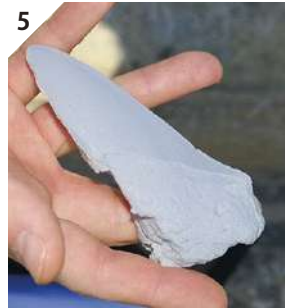
野崎さんの指導の元、コンコン岩を叩いていると、割れた岩の断面から早速二枚貝の化石が見つかる。二宮で見たものと違いほとんど岩と同化していて、少しキラキラしている。野崎さんによると、貝殻の炭酸カルシウムが一度溶けて再結晶しているからだろう。

岩肌をよく観察していると、割らずとも貝の断面があちこちに露出していることに気付く。しかし貝まるごと手に取れるようなものはなかなか見つからない。そんな中、参加者の子どもが野崎さんに何かを手渡す。「これはすばらしい！キサゴという巻貝の仲間だよ。全体が残ったいい化石だね。」

大磯層でこれほど状態が良いものを掘り出せることはなかなかないらしい。その後も、違う種類の巻貝(エソボラの仲間)の化石を子どもが見つ付けてくれた。石のように硬く変化した七百万年前の生きものが、今手のひらの上にあるという不思議を感じてくれただろう。

ここでは海の生きものだけでなく、サイヤイノシシの化石も見つかっているそうだ。野崎さんによると、陸から深い海まで続く海底の谷にたまった地層らしい。「よく調べたらワニの化石も見つかるんじゃないかなと思っっているんですが…みんなの力で見つけて欲しいな。狙い目は大きな台風が過ぎた後。雨や風、波でこの砂が洗い流されて、普段見えない岩が見えるようになるからね。是非チャレンジしてみたい。それでは今日の体験観察会はこの辺で終わりにしましょう。」

大磯町西小磯海岸



1 / 砂浜の一角に露出する大磯層。普段は砂で大部分が隠れているが、波や風によって隠れた部分が現れた時が化石発掘の大きなチャンスだそうだ。2 / 硬い地層を懸命に削る園児。二宮層では活躍したプラスチックの鏝（たがね）だったが、大磯層では歯が立たなかった。3-4 / 園児が発掘した700万年前のキサゴの仲間（3）とエソボラの仲間（4）の化石。700万年前とは人類が誕生したとされる時期だ。ちなみに、地球誕生から現在までを1年に置き換えると、なんと700万年前は365日目となる。地球の歴史からすると人類誕生などつい最近の出来事なのだ。5 / 史上最大級の捕食者魚類とされるメガロドン（メガロドン）の歯の化石のレプリカ。野崎さんが参加者のために持って来てくれた。6 / 割れた岩から出てきた二枚貝の断面（矢印）。炭酸カルシウムの結晶がキラキラと光り美しい。7 / 野崎さんが見つけてくれたクジラと思われる骨の化石の一部。脊椎動物の骨は多孔質なのが特徴。

3 大磯層編 七百万年前

次 に向かったのは大磯町の西小磯海岸。その一角に、砂に紛れながら硬い岩が露出している場所がある。それがなんと七百万年くらい前の地層（大磯

「貝の中身の化石はないの？」「残念ながら水の中の生きものは化石になる前に腐ってしまうので、骨や殻しか残らないんだ。」最後に設けた質問コーナーでは、子どもならではの質問がたくさん寄せられた。



4 太古の世界と繋がる

観察会を終えて

太

古の世界を知る手掛かりとなる遺産「化石」。地層に封じ込められた生物の痕跡を観察し、時空を超えて数十万、数百万年前に生きていた姿を想像することも、自然観察のひとつの在り方だ。今回実際に自分の目で化石を見つけ、触れてみる体験をすることで、「太古の世界」と「今」がリアルに繋がる得難い経験をすることができたように思う。

現在地球には、五百万種とも三千万種とも言われる多様な生物が存在するが、どれも皆、およそ四十億年前に生まれた最初の生命が枝分かれしながら連綿と続いてきたものだ。化石を手のひらに乗せた時のワクワクするような感覚は、気が遠くなるほど長大な生命の歴史に触れることができた喜びの現れなのかもしれない。



4 太古の世界と繋がる



湘南で化石に出会う

fin



Special Thanks

— 協力してくれたみなさま —

齋藤壮汰、充希、粹実／佐々木湊大、晴大、定夫、昌子／三日尻悠馬、遙也、篤志、ゆか／一般社団法人 NIELA（間島氏）／東京大学果樹園跡地活用協議会／二宮町施設再編課／平塚市博物館



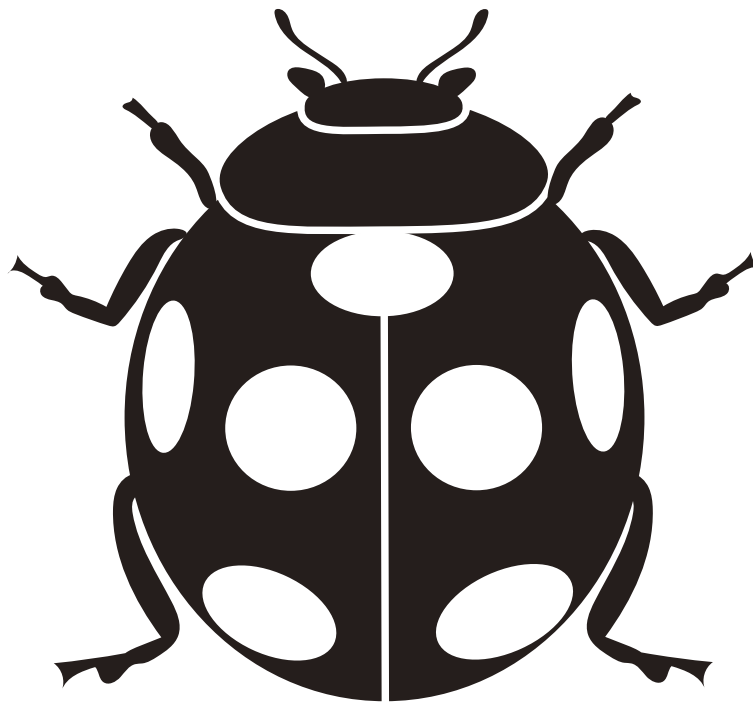
上写真：岩肌のわずかな変化に注目して化石を探す参加者家族（大磯町西小磯海岸）

下写真：左から> 平塚市博物館のメガロドンの顎歯の復元模型／博物館収蔵庫で見せていただいた平塚市産の魚の化石／道中で観察した二宮層の露頭／遺跡にある二宮ワインカーヴの入口／ベニグリの化石（二宮層）／西小磯の住宅地から望む相模湾／エソボラの仲間の化石（大磯層）

皆さんの
投稿写真を
季節ごとに
掲載！

湘南発 みんなでつくる！

生きものの図鑑 冬



Explanatory notes

凡例 ① 場所・② 年月・③ 氏名

- ※ 対象地域は神奈川県です。
- ※ 同定者名の記載のないものは編集部(堀田佳之介)が同定。
- ※ 「県RDB」は、神奈川県レッドデータブック2006の略です。

身近な生きものの写真をみんなで集めて楽しみながら、それぞれの生きものが「いつ」「どこにいたか」という学術的にも貴重なデータを集積していく図鑑です。

Mail QR コード



どなたでも投稿できます

「写真」「撮影日」「撮影場所」「発見者名」をお送りください。種名がわからなくてもOKです。

投稿用メール ikimono@hiraoka-kg.com

Web Site



種名を検索できます

創刊号～今号に掲載されたすべての種を検索できます (WEB 限定)

平岡幼稚園 HP <http://hiraoka-kg.com/creature/>



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年12月中旬 備考：—
- ③ 秋山颯汰



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年12月中旬 備考：—
- ③ 石黒睦斗



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年12月中旬 備考：—
- ③ 鎌田一花



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年12月中旬 備考：—
- ③ 松下結人



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年12月中旬 備考：—
- ③ 川口幹雲



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 伊東知宏



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 一瀬希織



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 加藤瞳



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 田淵風



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 巖島凜花



ナツアカネ♂

- ① 平塚市真土 同定：—
- ② 2024年12月上旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 山本幸喜



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年9月中旬 備考：期間外
- ③ 佐々木大我



ヒメクダマキモドキ♀(死体)

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年12月中旬 備考：—
- ③ 宮森鈴葉



ヒメクダマキモドキ♀(死体)

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年12月中旬 備考：—
- ③ 杉山凜空



ツチイナゴ♂

- ① 秦野市今泉 同定：—
- ② 2024年11月下旬 備考：期間外
- ③ 小松望結



ツチイナゴ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2025年2月上旬 備考：—
- ③ 永山朝陽



ショウリョウバッタ♀

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年9月下旬 備考：期間外
- ③ 國井杏音



ハラビロカマキリ

- ① 茅ヶ崎市芹沢 同定：—
- ② 2024年12月上旬 備考：—
- ③ 山本幸喜



ハラビロカマキリ古卵鞘

- ① 平塚市方田 同定：—
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 山田奈々



ムネアカハラビロカマキリ

- ① 平塚市真田 同定：—
- ② 2024年11月上旬 備考：期間外 国外外来種
- ③ 小松望結



ムネアカハラビロカマキリ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2024年12月上旬 備考：国外外来種
- ③ 山本幸喜



アブラゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 安澤柚花



アブラゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 小松望結



アブラゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 小澤里奈



アブラゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 草野颯汰



ミンミンゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 久保田咲穂



ミンミンゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 長澤莉緒



ミンミンゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 瀬戸康太



ミンミンゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 石川楓葉



ミンミンゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月下旬 備考：—
- ③ 佐藤玲愛



ミンミンゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月下旬 備考：—
- ③ 山橋さくら



ミンミンゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月下旬 備考：—
- ③ 山川梨乃



ミンミンゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月下旬 備考：—
- ③ 山田琉華



ミンミンゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月下旬 備考：—
- ③ 森澤蒼斗



ミンミンゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月下旬 備考：—
- ③ 嶋津隼人



ツヤアオカメムシ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年12月中旬 備考：—
- ③ 保科伊澄



ミナミアオカメムシ

- ① 平塚市万田 同定：—
- ② 2025年1月中旬 備考：平岡幼稚園で標本保管
- ③ 山田健誠



コクワガタ♂

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2025年2月上旬 備考：—
- ③ 梅澤来心音



コクワガタ♀

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2025年2月上旬 備考：—
- ③ 中村真海子



ナナホシテントウ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 岩間翔稜



ナナホシテントウ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2025年2月中旬 備考：—
- ③ 平野楓果



ヒメカメノコテントウ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月下旬 備考：—
- ③ 中野颯



チャバネフユエダシャク♂

- ① 茅ヶ崎市芹沢 同定：中島英雄
- ② 2024年12月下旬 備考：羽化不全個体
- ③ 山本幸喜



ナミスジフユナミシャク♂

- ① 平塚市万田 同定：中島英雄
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 山田健誠



ナミスジフユナミシャク♀

- ① 平塚市万田 同定：中島英雄
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 堀田来佳



ナミスジフユナミシャク♀

- ① 平塚市万田 同定：中島英雄
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 中村いと



ナミスジフユナミシャク♀

- ① 平塚市万田 同定：中島英雄
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 長尾正道



イチモジフユナミシャク♂

- ① 平塚市土屋 同定：中島英雄
- ② 2025年1月上旬 備考：—
- ③ 山本幸喜



イチモジフユナミシャク♀

- ① 茅ヶ崎市芹沢 同定：中島英雄
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 山本幸喜



クロオビフユナミシャク♂

- ① 平塚市土屋 同定：中島英雄
- ② 2025年1月上旬 備考：—
- ③ 山本幸喜



ナガサキアゲハ幼虫

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年12月下旬 備考：—
- ③ 下田梨々美



アオスジアゲハ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年9月中旬 備考：期間外
- ③ 神藤香桜



アオスジアゲハ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年9月中旬 備考：期間外
- ③ 石川暖



キタキチョウ

- ① 秦野市羽根 同定：—
- ② 2024年11月中旬 備考：期間外
- ③ 小松望結



カタハ

- ① 秦野市羽根 同定：—
- ② 2024年11月中旬 備考：期間外
- ③ 小松望結



ゴマダラチョウ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 粟倉晝



ゴマダラチョウ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年2月上旬 備考：—
- ③ 小山田三鶴



ヒメウラナミジャノメ

- ① 茅ヶ崎市芹沢 同定：—
- ② 2024年12月中旬 備考：—
- ③ 山本幸喜



キンイロエビモ亜生体

- ① 平岡幼稚園内 同定：新井浩司
- ② 2025年1月下旬 備考：—
- ③ 磯田結月



サワガニ幼体

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年12月上旬 備考：—
- ③ 沼田理玖



サワガニ幼体

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年12月中旬 備考：—
- ③ 川口紫雲



サワガニ幼体

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年12月中旬 備考：—
- ③ 岩間翔後



サワガニ(死体)

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月中旬 備考：—
- ③ 井上愛葉



サワガニ幼体

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月下旬 備考：—
- ③ 山口穂葉



ミスジマイマイ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2025年1月下旬 備考：—
- ③ 伊東愛佳



ウスカワマイマイ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2025年2月上旬 備考：—
- ③ 貝塚花清



ウスカワマイマイ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2025年2月中旬 備考：—
- ③ 佐々木晴大



カワナ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年12月中旬 備考：—
- ③ 橋本颯馬



スクミンゴガイ(殻)

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2025年2月中旬 備考：国内外来種
- ③ 齋藤社太 別名ジャンボタニシ



ニホンアマガエル

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2024年12月中旬 備考：—
- ③ 堀部伸城



ニホンアマガエル(死体)

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2024年12月下旬 備考：モズのはやにえ
- ③ 下田梨々美

DATA

創刊号からの累計

926種

昆虫類 701種(追加なし)

その他 225種(New1種)

キンイロエビゴモ

※種名が判明したものに限り

END